

令和 6 年 度

事 業 報 告 書

決 算 報 告 書

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

東京土木施工管理技士会

はじめに

会員各位のご支援・ご協力により、令和6年度事業が遂行できましたことを心から感謝申し上げます。

令和6年4月から時間外労働の罰則付き上限規制が適用され、労働力の確保と効率的な働き方が求められるなか、当会では現場運営を円滑にするコミュニケーションセミナーをはじめ、技術力向上、若手技術者育成および資格取得を支援する各種講習会・研修会を開催したほか、関係法令・制度・行政施策等の情報を周知するため、官公庁による概要解説の説明会を実施いたしました。

また、多数の埋設管が敷設された都市の地下鉄改良工事や施工条件の厳しい山間部の橋梁工事、住宅近隣地の大規模なトンネル工事など様々な工種の現場見学会や、異業種施設の視察見学会を実施し、技術力向上の支援に努めました。

さらには、広く都民の方々に土木技術者の役割と社会資本整備の重要性を理解していただくため、一般向けの土木施設見学会を実施、加えて優秀な人材の確保を支援する「採用担当者向けセミナー」、合同企業説明会「みんなの建設業☆インターンシップ&業界研究フェスタ」を開催いたしました。

これらの当会の活動内容、土木施工に関する情報等を機関誌「DOBOKU 技士会東京」にて会員や関係団体の皆様に周知し、技士会の事業活動をPRいたしました。なお、「DOBOKU 技士会東京」は、本年1月の発行号をもって創刊100号を迎えました。これまで当会の活動を支えていただいた皆様に心より御礼申し上げます。

令和 6 年度

事業報告書

1. 技術力向上に関する支援事業

(1) 各種研修会・講習会等の実施

若手技術者の育成や会員技術者の技術力向上のための研修会・講習会を全 20 回開催した。

①若年技術者育成の支援

- | | |
|----------------------------|-------------|
| ・ 建設業新入社員研修会〔共催〕 | 4 月 2 日～3 日 |
| ・ 新入社員半年フォロー研修会〔共催〕（第 1 回） | 10 月 18 日 |
| （第 2 回） | 10 月 21 日 |
| ・ 若手技術者（3～5 年次）フォロー研修会〔共催〕 | 11 月 13 日 |

②土木施工管理技士資格取得のための支援

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| ・ 1 級 第一次検定 受験準備講習会〔共催〕 | 6 月 5 日～6 日 |
| ・ 1 級 第二次検定 受験準備講習会〔共催〕〈オンデマンド〉 | |
| | 8 月 29 日～10 月 6 日 |

③基礎的な技能習得のための支援

- | | |
|------------------------|-----------|
| ・ 原価管理講習会 | 5 月 30 日 |
| ・ 安全管理講習会 | 6 月 20 日 |
| ・ コンクリート施工技術講習会〔共催〕 | 7 月 10 日 |
| ・ 環境管理講習会 | 8 月 6 日 |
| ・ 仮設構造物（土留め工）の設計・施工講習会 | 10 月 9 日 |
| ・ 盛土工の基礎講習会 | 11 月 22 日 |
| ・ 施工計画の基礎講習会 | 11 月 27 日 |

④総合的な技能習得のための支援

- ・現場代理人の折衝力強化研修会〔共催〕 6月21日
- ・現場の失敗事例に学ぶ施工管理セミナー 7月25日
- ・道路舗装維持管理セミナー 8月21日
- ・公共工事の積算セミナー 9月12日
- ・現場運営を円滑にするコミュニケーション能力アップセミナー 9月26日
- ・工事成績評定アップ対策ポイントセミナー〈オンライン〉 10月24日
- ・コンクリート維持管理技術講習会（上級編） 2月6日

(2) 土木工事現場の視察

- ・東西線飯田橋・九段下間折返し設備設置九段下工区改良土木工事 5月16日
- ・新東名高速道路中津川橋工事 9月4日
- ・横浜環状南線公田笠間トンネル工事 11月12日

(3) 異業種他分野等各種施設の視察

- ・八重洲エネルギーセンター 10月16日
- ・日本航空安全啓発センター 1月23日

2. 関係法令・制度・行政施策等の情報提供

官公庁による法改正や入札契約に関する概要解説の各種説明会を3回開催した。

(1) 法改正等に伴う説明会の実施

- ・建設業の取引適正化に関する説明会〔共催〕〈オンライン〉 11月15日

(2) 入札契約に関する説明会の実施

- ・ 関東地方整備局 入札・契約制度に関する説明会〔共催〕

〈オンデマンド〉 7月5日～8月9日

- ・ 東京都 入札・契約制度に関する説明会〔共催〕〈オンライン〉 8月1日

3. 広報事業

(1) 若年者への魅力ある建設業のPR

若者への建設業のPRと会員企業の人材確保の一助となるよう主に大学生を対象にインターンシップと業界研究のイベントを東京建設業協会と共催し、本イベントの一環として、就職活動をする学生の動向やインターンシップの重要性などについて採用担当者向けに説明会を開催した。

- ・ 採用担当者向けセミナー〔共催〕〈オンライン〉 7月29日

- ・ 「みんなの建設業☆インターンシップ&業界研究フェスタ」開催〔共催〕

〈オンライン説明会〉 8月7日・8日

〈オンデマンド配信〉 8月30日～2月23日

(2) 一般向けの理解促進に関する事業

人々の生活に不可欠でありながら、普段見ることのできないインフラ施設やそれを支える日本の土木技術力を見ていただく機会として、主に一般の親子向けに土木工事現場見学会を開催した。

- ・ 環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）工事 12月22日

(3) 機関誌「DOBOKU 技士会 東京」の発行

機関誌「DOBOKU 技士会 東京」を年 4 回発行し、会員及び関係行政機関、建設関係団体等に配布した。

- ・ 第 97 号（令和 6 年 4 月発行）
- ・ 第 98 号（令和 6 年 7 月発行）
- ・ 第 99 号（令和 6 年 10 月発行）
- ・ 第 100 号（令和 7 年 1 月発行）

(4) 土木施工管理に関する情報収集及び提供

講習会・見学会の開催案内の発信をはじめ、ホームページやメール、機関誌を活用して情報を提供し、利便性の向上に努めた。

4. 調 査 研 究

講習会で使用するテキストの作成及び研究をはじめ、講習会受講者アンケートや現場見学会受入れ調査などを実施した。

- (1) 現場見学受入れ先調査
- (2) 事業運営に必要な各種調査の実施

5. 表 彰

- (1) 優良技術者表彰の実施

会員から推薦された優良技術者 128 名を表彰した。

(2) 各種表彰候補者の推薦

優良技術者表彰の中から 12 名を（一社）全国土木施工管理技士会連合会が行う表彰に推薦した。

6. 連絡協議

(1) 関係行政機関・関係団体との連絡協議

関係行政機関・建設関係団体をはじめ、各地方技士会、（一社）東京建設業協会等と随時情報交換を行った。

7. 会 議

(1) 総 会

・ 定時総会 5 月 27 日
議決事項

- ① 令和 5 年度事業報告並びに同決算報告に関する件
- ② 令和 6 年度事業計画並びに同収支予算に関する件
- ③ 役員の任期満了に伴う選任の件

優良技術者表彰 128 名

(2) 理事会

・ 第 1 回 理事会 5 月 27 日

- ① 令和 5 年度事業報告並びに同決算報告に関する件
- ② 任期満了に伴う役員候補者の選出に関する件

・ 第 2 回 理事会 3 月 26 日

- ① 令和 7 年度事業計画（案）に関する件
- ② 令和 7 年度収支予算（案）に関する件

(3) 監事会

4 月 18 日

- ① 令和 5 年度事業報告に関する件
- ② 令和 5 年度決算報告に関する件

8. 委 員 会

(1) 総務委員会

・ 第 1 回 総務委員会

12 月 17 日

- ① 令和 6 年度会員の異動状況と収入状況について
- ② 令和 6 年度事業の実施状況について
- ③ 令和 6 年度事業の今後の予定について

・ 第 2 回 総務委員会

3 月 13 日

- ① 令和 7 年度事業計画（案）について
- ② 令和 7 年度収支予算（案）について

(2) 事業運営委員会

・ 第 1 回 事業運営委員会

12 月 5 日

- ① 令和 6 年度事業の実施状況について
- ② 今後の事業予定について
- ③ 優良技術者表彰について

・ 第 2 回 事業運営委員会

3 月 6 日

- ① 令和 7 年度事業計画（案）について
- ② 令和 7 年度優良技術者表彰について

- ・講習会グループ会議 11 月 20 日、2 月 21 日

令和 6 年度講習会事業の実施状況、令和 7 年度講習会事業計画（案）などを協議するため開催した。

- ・現場視察グループ会議 2 月 26 日

令和 6 年度現場見学事業の実施状況、令和 7 年度の現場見学会候補地を選定、協議するため開催した。

- ・情報・広報グループ会議 6 月 14 日、11 月 6 日、2 月 7 日

令和 6 年度事業の機関誌「DOBOKU 技士会東京」発行および機関誌 100 号記念特集、学生向け合同企業説明会、異業種他分野各種施設見学会、一般向け土木現場見学会候補地を協議するほか、令和 7 年度の事業計画（案）を協議するため開催した。

令和 6 年度

決算 報告 書

収 支 計 算 書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

I. 収入の部

(単位:円)

勘 定 科 目		予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目				
会 費 収 入		34,400,000	33,788,500	611,500	98.2%
	個 人 会 費	500,000	376,000	124,000	
	法 人 会 費	32,900,000	32,412,500	487,500	
	賛 助 会 費	1,000,000	1,000,000	0	
入 会 金 収 入		150,000	22,500	127,500	15.0%
	入 会 金 収 入	150,000	22,500	127,500	
事 業 収 入		6,000,000	4,560,378	1,439,622	76.0%
	講 習 会 収 入	6,000,000	4,560,378	1,439,622	
雑 収 入		100,000	65,108	34,892	65.1%
	雑 収 入	100,000	65,108	34,892	
当 期 収 入 合 計 (A)		40,650,000	38,436,486	2,213,514	94.6%
前 期 繰 越 収 支 差 額		12,240,000	12,475,000	△ 235,000	
収 入 合 計 (B)		52,890,000	50,911,486	1,978,514	96.3%

Ⅱ. 支出の部

(単位:円)

勘 定 科 目		予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目				
事 業 費		31,070,000	30,986,789	83,211	99.7%
	給 料 手 当	10,900,000	11,322,002	△ 422,002	
	福 利 厚 生 費	1,640,000	1,873,230	△ 233,230	
	旅 費 交 通 費	50,000	49,485	515	
	通 信 運 搬 費	1,200,000	1,664,704	△ 464,704	
	会 議 費	900,000	1,052,499	△ 152,499	
	講 師 謝 金	1,900,000	1,811,390	88,610	
	研 修 講 習 費	2,800,000	2,353,299	446,701	
	資 料 印 刷 費	1,800,000	1,824,196	△ 24,196	
	調 査 視 察 費	900,000	920,835	△ 20,835	
	広 報 費	5,200,000	5,551,676	△ 351,676	
	行 事 費	1,900,000	1,558,890	341,110	
	負 担 金	1,830,000	959,400	870,600	
	雑 費	50,000	45,183	4,817	
管 理 費		10,240,000	9,692,291	547,709	94.7%
	給 料 手 当	3,300,000	2,830,500	469,500	
	福 利 厚 生 費	740,000	468,307	271,693	
	旅 費 交 通 費	50,000	46,682	3,318	
	通 信 運 搬 費	500,000	750,016	△ 250,016	
	備品消耗品費	350,000	484,698	△ 134,698	
	賃 借 料	1,470,000	1,453,636	16,364	
	水 道 光 熱 費	800,000	792,000	8,000	
	総 会 費	3,000,000	2,855,144	144,856	
	雑 費	30,000	11,308	18,692	
引当預金支出		400,000	400,000	0	
	退職給与引当預金支出	400,000	400,000	0	
積立預金支出		1,000,000	1,000,000	0	
	記念事業基金	1,000,000	1,000,000	0	
予 備 費		500,000	0	500,000	
	予 備 費	500,000	0	500,000	
当 期 支 出 合 計 (C)		43,210,000	42,079,080	1,130,920	97.4%
当 期 収 支 差 額 (A) - (C)		△ 2,560,000	△ 3,642,594	1,082,594	
次期繰越収支差額 (B) - (C)		9,680,000	8,832,406	847,594	

正味財産増減計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:円)

勘 定 科 目	金 額		
I 増 加 の 部			
1. 資産増加額			
当期収支差額	△ 3,642,594		
退職給与引当預金増加額	400,000		
積立預金増加額	1,000,000		
資産増加額		△ 2,242,594	
2. 負債減少額			
退職給与引当金取崩額	0		
負債減少額		0	
増加額合計			△ 2,242,594
II 減 少 の 部			
1. 資産減少額			
退職給与引当預金減少額	0		
資産減少額		0	
2. 負債増加額			
退職給与引当金繰入額	400,000		
負債増加額		400,000	
減少額合計			400,000
当期正味財産増加額			△ 2,642,594
前期繰越正味財産額			39,475,000
期末正味財産合計額			36,832,406

貸 借 対 照 表

(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

勘 定 科 目	金 額		
I 資 産 の 部			
1. 流動資産			
現 金	349,070		
預 金	9,314,336		
流動資産合計		9,663,406	
2. 固定資産			
退職給与引当預金	4,753,913		
記念事業基金	8,000,000		
財政調整基金	20,000,000		
固定資産合計		32,753,913	
資産合計			42,417,319
II 負 債 の 部			
1. 流動負債			
前 受 金	831,000		
流動負債合計		831,000	
2. 固定負債			
退職給与引当金	4,753,913		
固定負債合計		4,753,913	
負債合計			5,584,913
III 正 味 財 産 の 部			
正味財産			36,832,406
(うち当期正味財産増加額)			(△ 2,642,594)
負債及び正味財産合計			42,417,319

財 産 目 録

(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

勘 定 科 目	金 額		
I 資 産 の 部			
1. 流動資産			
現金預金			
現 金	349,070		
普通預金			
三菱UFJ銀行八重洲通支店	9,314,336		
流動資産合計		9,663,406	
2. 固定資産			
退職給与引当預金			
定期預金			
三菱UFJ銀行八重洲通支店	4,753,913		
記念事業基金			
定期預金			
三菱UFJ銀行八重洲通支店	8,000,000		
財政調整基金			
定期預金			
三菱UFJ銀行八重洲通支店	20,000,000		
固定資産合計		32,753,913	
資産合計			42,417,319
II 負 債 の 部			
1. 流動負債			
前 受 金	831,000		
流動負債合計		831,000	
2. 固定負債			
退職給与引当金	4,753,913		
固定負債合計		4,753,913	
負債合計			5,584,913
正味財産			36,832,406

監 査 報 告 書

会則第 27 条により、令和 6 年度の事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録を関係諸帳簿及び証憑書類と対照監査したところ、いずれも適正かつ正確に処理されていることを確認しました。

令和 7 年 4 月 15 日

東京土木施工管理技士会

監 事 芦澤 常幸 

監 事 棚岳 雄一郎 

監 事 椎名 厚 